



都城国際交流協会会報

MIA NEWS

ミア ニュース

編集発行:都城国際交流協会
〒885-8555 都城市姫城町6-21
都城市役所 国際化推進室内
電話 0986-23-2295
FAX 0986-23-3223
http://miyakonojo-mia.com/
E-mail mia@btvm.ne.jp

2018ワールドカップロシア大会に行ってきました

～MIA会員の飯干和洋さんからの記事をご紹介します～

長年の夢だった4年に一度の祭典、サッカーワールドカップの観戦を前に、不安と期待感が錯綜した。不安は慣れない海外旅行、ましてや大の「飛行機嫌い」、10回も乗り換えることの苦痛感や米国、西欧との違い、ロシアは情報統制や治安等で負のイメージが強く憂苦の日々が過ぎた。

しかし、ワールドカップで世界のスーパースターや名だたる強豪国の試合観戦、サポーターとの交流、ロシア観光やグルメ、ヴォッカ等を堪能できる高揚感とその不安を払拭した。

いよいよ、15日間の長旅、「失念」することが多々ある小生、海外旅行の知識は皆無に等しくロシアで斃死してしまう心配、幸いにも「刎頸の交わり」の同僚「Y・T」氏が英断され、観戦ツアーに同行できるとのこと、なんとも心強半面、珍道中の楽しみが膨らむ。それと、3名の日本戦3試合連続観戦の「三勇士」も参戦。

旅行会社の「M」氏がナビされるとのことで旅の安全祈願の「成田新勝寺詣」は割愛。

宮崎からJALで羽田、成田に到着。円をルーブル・ユーロに換金。フィンエアーでヘルシンキに飛ぶ。

10時間後、眼下に美しい森と湖が見下ろせる。ヘルシンキ空港に到着。フィンランド観光もと思いつつ、2時間休憩後、モスクワ(シェレメーチェヴォ空港)へ到着。

ついに異国の地にきた感動と安堵感が漂い、「西野ジャパン」への期待とロシア観光の楽しみが膨らむ専用バスから市外を眺めると近代的なビル、高級車、そして美しい町並み、ロシアのお堅く暗いイメージはもはや過去のものとなった。

「アヴィエーター」ホテルに宿泊後、専用バスで移動。白樺、ポプラ等の樹木の緑が美しい、なんとも雄大な景色に感嘆。5時間後、リヤザンに着いた。

「オールドタウン」ホテル同様、市外の建物も潇洒で個性的である。カラフルだが落ち着いた色合いに長旅が癒され1時間ほど散策した。

パブリックビューでチェニジアVSイングランド観戦中、チェニジアサポーターが集結、一緒に応援し、いよいよワールドカップの雰囲気が高まる。

翌朝4時、合流した日本のサポーターと専用バスでサランスクへ。バスの朝食のリンゴが美味だった。休憩時に人の良い農夫と遭遇。途中、警察の検問が2回、テロ対策も厳重だ。いよいよ、第1戦決戦の地、モルドビアアリーナへ。国旗、マフラー、ペインティングした熱狂的コロンビアサポーターが町並みを笛・太鼓で乱舞しながら闊歩。お祭り騒ぎだがとても友好的、早速スマホで撮影。アリーナに着くと入場検査が30分。バッグの中身を検査、厳重な警備だ。

興奮しながらビールを片手に入場。周りはコロンビアサポーターでもはや完全アウェー、四面楚歌の状態。試合セレモニー、「君が代」が流れ、感動で涙。下馬評では日本勝利は希薄だが日本の勝利を確信。試合内容は割愛する。

日本勝利後、早く観戦席から退避しないとコロンビアのサポーターからバッシングされるのではと危惧したが杞憂に終わった。すぐに日本の勝利を称え、ハグ。応援マフラーをコロンビアユニフォームとチェンジを要求。躊躇せず交換。試合に負けたのだがそのスポーツマンシップは賞賛に値する。日本とコロンビアは後の2試合を勝利し、互いに決勝トーナメントへの進出を願った。

試合後、専用バスでモスクワに向かうが10時間の長旅。

スーパーでバナナ、トマトを購入、野菜は新鮮だ。バス内は日本が勝利したのにも拘らず静かな雰囲気、これも国民性?それとも長旅で疲労困憊か?早朝、モスクワにホテルに到着し、仮眠。隣の「ガンマイズマイ」ホテルにチェックイン。ホテルはクーラーなし、ロシアでは当然かもと納得。テレビの電源、風呂の設備が故障、これも日本勝利で帳消し。夕食はヴォッカで乾杯、

ボルシチ、タラの煮込みを堪能。

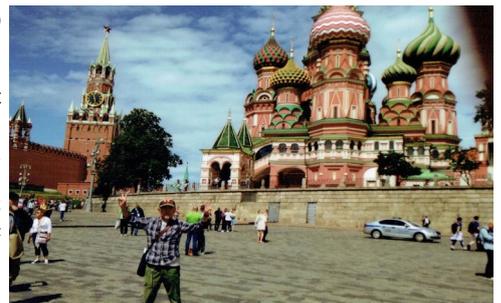
翌日、地下鉄で「赤の広場」へ。パルチスカヤ駅を下車、観光客の多さには驚嘆。

イルミネーションの「ニコリスカ

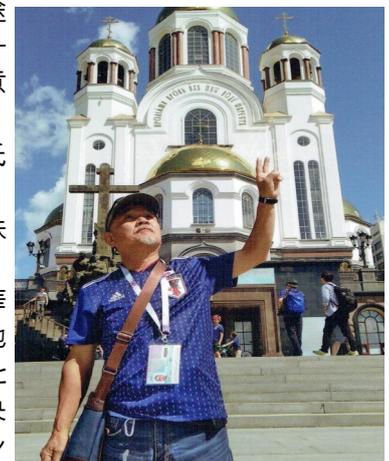
ヤ」通りを過ぎるとヴァスクレンスキー門、カザンの聖母聖堂、国立歴史博物館、レーニン廊、カラフルな聖ワシリイ寺院(見学350ルーブル)等を見学。モスクワ川沿岸を徒歩で5^分程散策。橋からピョートル大帝像を眺望、救世主キリスト聖堂、ドストエフスキー像を通過し、レストランで昼食したが1時間待つてようやくピザが食卓に…。ポーランドサポーターとエール。夕食ではテレビでアルゼンチンVSクロアチア観戦、アルゼンチン完敗した途端、ウルグアイサポーター歓喜。やはり隣国で対抗意識が強いのか?

翌朝、ガイドの「Y・B」氏の流暢な日本語案内で、1937年に完成した地下鉄で移動。

重厚・荘厳な内部、豪華な装飾・彫刻はまさに「地下宮殿」だ。55ルーブルと運賃も安い。モスクワ中央環状線に乗り継ぐ。コンピューターで制御された近代的な列車である。



赤の広場の聖ワシリイ寺院前で



血の教会
ヴァズネセンスキー教会

ルジニキ駅で下車、世界遺産のノヴォデヴィチ女子修道院・墓地を見学、フルシチョフ、ゴーゴリ、エリツィン等ロシアの歴史上の人物の墓を拝見。昼食は、「ゴールビ」レストランで、クロビール、ピロシキは餃子のように、ビーフストロガノフは絶品だ。

翌日、アエロエクスプレス(500ルーブル)でドモジドヴォ空港へ向かった。搭乗手続時にシステムダウンで2時間遅延後、2時間時差のエカテリンブルグに到着した。

三食付きの「マリズパーク」ホテルにチェックイン。夜の「エカテリンブルグ鉄道旅客駅」を見学、哀愁が漂う。次回のロシア旅行はシベリア鉄道でユーラシア大陸横断だと豪語。

夜が明けて、徒歩で血の教会、青色のヴァズネセンスキー教会を散策し、日本対セネガル戦の必勝を祈願した。

専用バスでエカテリンブルグアリーナへ、途中、レーニン像が車窓から見え、スマホで撮影のため下車後、樹木や花の植栽で美しい通りを一目散に疾走。その途中、セネガルサポーターの行進に圧倒された。



ようやくレーニン像に辿り着くと感極まる。急ぎ足で会場へ。新しいアリーナは美しいデザインで、サッカーを観戦するに臨場感、醍醐味を味わえるこの上ない特等席だ。

左側ゴール裏はウルトラデンマークのサポーターと一緒に、スタジアムは最高の雰囲気、試合は死闘の末、ドロー。特筆すべき結果だ。足取り軽くホテルの帰途に着く。

翌日、クラシックなバス(ファンIDで無料)で空港へ。再び、モスクワまでのフライト。搭乗までの間、日本の有名人、数人と遭遇。「アエロテル」ホテルにチェックイン。

翌日、ロビーでメキシコ人歌手よりCDを貰い感激。

観光のため地下鉄で移動。そこで、「どんちゃん騒ぎ」のデンマークサポーターに遭遇。電車の中でも底が抜けるほどの狂喜乱舞。やれやれと思いつつ・・・、政治・文化・宗教の中心で城壁に囲まれた待望の「クレムリン」に到着した。

周辺は観光客でごった返しており入場券は2時間待ちのこと。でもさすがはクレバーな同伴の三勇士、入場券をいつの間にかゲット。

颯爽とロイツカヤ塔を抜けると荘厳で静寂な雰囲気息を呑んだ。

クレムリン大会宮殿、ブラゴヴェチェンスキー聖堂、ウスペンスキー大聖堂、イワン大帝の鐘楼等を見学し、主なモスクワ市内観光を終えて満喫した。

翌日、予選3戦目のポーランド戦のあるボルゴラド到着。大河ヴォルガに沿って南北に伸びている町で日本の真夏日ぐらいに暑く予想した気候とは大違い、改めてロシアの広さを痛感した。



ママエフ・クルガン像の前

ママエフ・クルガン(母なる祖国像)を見学、その大きさに驚嘆した。ヴォルガ川の観光船に乗り、船上からサッカー場、ママエフを眺望。ポーランド戦は惜敗し、試合内容で物議を醸した。コロンビアとともに決勝トーナメント進出が決まり、喜びもひとしおだ。

ハプニングで専用バスに乗らず、トラムに乗車したが行き先を誤り、下車。路頭に迷い、右往左往しているとロシア人夫婦がアクセスを親切丁寧に説明、理解できず、業を煮やしたのか車でホテルまで送るとのこと。約30分でホテルに到着。親切心に感極まり涙が流れた。最高の思い出となり応援グッズの国旗を贈呈した。

世界中の人との交流、素晴らしい思い出となったロシアワールドカップ。ツアーを企画の旅行会社の「M」氏、同伴の三勇士、友人の「T」氏には改めて感謝したい。



「遊牧民の引っ越しにまつわる習慣」 ～都城市モンゴル国際交流員 ソヨルマーさんによるモンゴル紹介～

遊牧民は、四季の特徴に合わせて、住む場所を選びながら生活をします。

引っ越しの前に世帯主が、草がよく生えて、川や井戸など水源に近い、風が強い季節に暴風から守ってくれる山の麓など、自分の飼っている家畜にとって放牧しやすい地形の特徴などをよく観察した上で、引っ越し先の新しい土地を決めます。

モンゴルの引っ越しの際の習慣・風習は、地域によって違う場合もありますが、どこの地域も引っ越しに関するしきたりを大変重んじて、大切に見守っています。

全国的によく知られて、守られている“三つの石を置く”伝統的な習慣を紹介します。

遊牧民が、引っ越し先を選んだら、その場所に同じぐらいの

大きさの三つの石を並べておいて、真ん中に草を挟んでおきます。

一つ目の石を基礎石と言いますが、この石を置く理由は、新しい土地に喜んで引っ越してくることを、二つ目の石は、新しい土地に対する敬意の気持ちを、三つ目の石は、その土地に幸せに暮らすことを、草を挟んでいるのは、大自然の営みをいただくために、許可を出していることを意味します。





「新しい中国の世界遺産」 ～都城市中国国際交流員 銭さんによる中国紹介～

今年の7月16日から7月31日まで、第44回世界遺産委員会が中国福建省福州市で開催されました。今回は、国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)が初めてオンライン形式で世界遺産についての議題を審議されたそうです。

そして、25日に、「泉州：宋朝・元朝における世界のエンポリウム 中国」を世界遺産として登録することが決まりました。これは中国が登録申請を行った文化遺産案件であり、古跡、遺跡、関連の環境、空間など22件の構成資産から成ります。同案件は、海の港から江口平原を通過して内陸の山地まで非常に広いエリアまで広がっており、宋朝・元朝における泉州の特色に満ちた海外との貿易体系や多元化された

社会の構造が反映されています。古都・泉州は、伝統的な建築である古宅「古厝(グーツウオ)」と南洋風な街並みの「騎楼(チーロウ)」が入り組むように建ち並んでおり、福建南部特有の雰囲気を感じさせてくれます。同時に、泉州の遺産スポットが最も密集している同エリアには、古い街並みや寺院、「小吃(シャオチー)」(軽食)の店が並び、生活の息吹を感じさせてくれます。これで中国の世界遺産は計56件となりました。



Aussie Bites (オーストラリアを、ひとかじり!) ～MIA会員 児玉留利子さんからの記事をご紹介します～

どの国でもですが、外国に抱くイメージはテレビとか映像、写真等で憧れたり、惹かれたりが一番の入り口かもですね。

私にとってオーストラリアは、出会った人達はそのイメージを植え付けてくれて、興味を持ち、魅力を感じさせてくれました。元都城市



CIRのティムの結婚式では、この後、決して経験できないだろうビーチでのWedding、そこで会った方たち、ティム以前に会ったオーストラリア人も優しく繊細な方たちでオーストラリアっていいとこですよ。



編集部より

かかりつけのお医者さんでコロナワクチンを接種しました。1回目の問診時に「若い人は熱が出たりするから、その時は解熱剤を飲んでいいよ」と言われたにもかかわらず、翌日筋肉痛の症状が出ただけだし、2回目接種時は発熱する割合が高いと言われているので人並み。自分ではまだまだ若いつもりでも年相応ってことですね。 [池田]

青森～宮城編に続いて、今回は【山形～新潟編】です。山形と言えば…さくらんぼ ですね！おいしいですよ。お高いものは、一粒●万円するものもあると聞いたことがあります…さくらんぼについて一つ疑問があります。皆さん、桃と言えば…りんごと言えば…みかんと言えば…頭に浮かんでくるのは、果実ですよ？でも、桜の実がさくらんぼであって、桜と言われても頭に思い浮かぶのは、さくらんぼじゃなく、花だと思えます。そもそも、なぜ、桃の木やりんごの花などと果実メイン呼び方が果物で多い中、桜の実が「さくらんぼ」って呼ばれているのか？不思議だなあとと思いませんか？って考えていたら、旅先の話をするの忘れちゃいました…でも次回は、福島編に行っちゃいます。 [西畑]

夏の疲れからか体調を崩して数日寝込んでいました。ただの胃腸炎だったのですが、何も口にできる気になれず、体が動かず、元気いっぱい生活していた昨日までの日々の尊さを噛みしめる良い機会になりました。それから暴飲暴食をやめて、毎日ちよつとずつ運動を始めています。 [山内]

家で飼っているワンちゃんが8月10日に10歳になりました。お祝いに、おやつであげているピーマンやきゅうりをいつもよりほんの少し多めにあげたら、はち切れんばかりにしっぽを振りながらガツガツと食べていて、嬉しそうに見えてほっこりとした気持ちになりました。そう言えば、うちのワンちゃんはどこ出身なんだろう、と思って調べてみると、なんとドイツ生まれ。道理で鼻筋がシュツとしてるわけだ、と納得した日でした。 [川内]

8月10日に、モンゴルレスリング連盟のオリンピックに参加した選手たちと西岳中学校の生徒さんたちがオンライン交流を行いました。生徒さ

んたちが、西岳中学校の“やっこ踊り”を披露して、モンゴルの選手たちに日本文化を紹介しました。

Tokyo2020レスリング女子53kg級で銅メダルを獲得したバトオチル・ボロルトヤール選手をはじめ、他の選手たちもモンゴルの食文化や、選手としての心境、選手の日線での試合についていろいろ語ってくれるとても楽しい交流会でした。 [ソヨ]

初回目のワクチン接種が終わりました。接種前は色々調べて副作用とかで心配していましたが、実際接種受けた時は何の感じもなく、普通にイキイキとしていて、友達や親に「なんの感じもないよ」って嬉しく報告までもしました。だが、それが初日のことで、接種の翌日が、自分も笑っちゃうぐらい腕が痛くて痛くて上がらなくなりました。周りから二回目の接種の副作用がもっとひどくなるって聞きましたが、それも個人差があってバラバラみたいで、どうなるだろうってまた二回目の心配が始まりました。接種が済んだ皆さまはどんな反応が出たんでしょうか？ぜひ教えてください。 [銭]

先月23日から今月8日までの16日間、オリンピックが開催され、職場の話が急に試合の結果等を中心になりました。言うまでもないですが、私は日本の選手達だけではなく、オーストラリアの選手達に注目し、以前のオリンピックと同じような気持ちや元気が湧いてきました。また選手達の努力している姿や素敵な試合を見るのが良かったのですが、NHKのホームページに載せられた日本選手紹介の切り抜きをまとめた動画の出来が本当に最高だと思います！

結局、オーストラリアは総合メダル数が6位、大半を占めた水泳が2位になりました。ただし、まだ終わっていないですよ！8月24日からパラリンピックが開催され、全国で皆さんは再び盛り上がるでしょう！

では、オリンピックの選手達と同じように、またパラリンピックの選手達を応援しましょう！ [ジョージ]

我が家の家庭菜園には、ミニトマトやなす、ピーマンがたわわに実を付けています。蛇もよるよる！しています。(笑) [田中]